

1. 資金収支計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)
(単位：千円)

科 目	予算額	決算額	差 異
〔収入の部〕			
1. 学生生徒等納付金収入	12,128,822	12,127,060	1,761
2. 手数料収入	229,460	253,255	△ 23,795
3. 寄付金収入	82,270	82,279	△ 9
4. 補助金収入	579,304	584,692	△ 5,388
5. 資産売却収入	0	0	0
6. 付随事業・収益事業収入	253,556	270,689	△ 17,133
7. 受取利息・配当金収入	42,983	43,233	△ 250
8. 雑収入	116,278	119,458	△ 3,180
9. 借入金等収入	0	0	0
10. 前受金収入	1,725,085	1,761,977	△ 36,892
11. その他の収入	600,147	614,761	△ 14,614
12. 資金収入調整勘定	△ 2,170,102	△ 2,181,000	10,898
13. 前年度繰越支払資金	24,840,967	24,840,966	
収入の部合計	38,428,770	38,517,372	△ 88,602
〔支出の部〕			
1. 人件費支出	5,497,767	5,477,677	20,089
2. 教育研究経費支出	2,743,498	2,650,849	92,648
3. 管理経費支出	1,215,289	1,215,288	0
4. 借入金等利息支出	0	0	0
5. 借入金等返済支出	6,862	6,861	0
6. 施設関係支出	1,429,779	1,416,160	13,618
7. 設備関係支出	339,832	339,831	0
8. 資産運用支出	2,090,000	1,989,532	100,468
9. その他の支出	364,102	361,314	2,787
10. 〔予備費〕	92,324		92,324
11. 資金支出調整勘定	△ 140,000	△ 168,850	28,850
12. 翌年度繰越支払資金	24,789,317	25,228,707	△ 439,390
支出の部合計	38,428,770	38,517,372	△ 88,602

学生生徒から徴収する入学金・授業料等が該当します。

主に入学検定料が該当します。

当年度の収入でないもの（期末未収入金、前期末前受金）を控除する科目です。

教育や研究のための支出が該当します。

学校を運営するために管理をしている部署の支出が該当します。

土地、建物、構築物等固定資産の取得を表す科目です。

機器備品、図書、ソフトウェア等の取得を表す科目です。

当年度の支出でないもの（期末未払金）を控除する科目です。

当年度の資金収支の収入と支出の差額です。貸借対照表の「現金預金」の金額と一致します。

表示額の端数調整…計算書の記載額を千円未満「調整」してあるので、差異及び合計欄の数値と一致しないことがある。

〔概要〕

収入の部について、手数料収入約2千万円、前受金収入約3千万円の予算超過となりましたが、その他の科目は概ね予算通りとなり、結果として、前年度繰越支払資金約248億円を含めた収入の部の合計は約385億円です。

支出の部について、土地の購入及び留学生別科の星が丘キャンパス移転に伴う改修工事をはじめとする各種工事等により施設関係支出が約14億円、設備関係支出が約3億円となり、結果として、翌年度繰越支払資金約252億円を加えた支出の部の合計は約385億円です。

●資金収支計算書

当該会計年度の学校法人の教育研究活動やこれに付随する活動等に対応する全ての収入及び支出の内容、並びに支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を表すものです。